

日本教育メディア学会

学会通信 第41号

学会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jaems/>

2007年2月10日発行

事務局

〒184-8501

東京都小金井市眞井北町4-1-1

東京学芸大学教育学研究室内

電話:042-329-7344

E-mail:shijaems@u-gakugei.ac.jp

第13回日本教育メディア学会年次大会を終えて

大会実行委員長 瀬川 良明

平成18年(2006年)10月14日(土)、15日(日)の2日間、第13回日本教育メディア学会年次大会が、北海道教育大学札幌校を主会場に開催されました。本大会が北海道札幌市で初めて開催されたことに加え、同時期に札幌市内を会場に開催された第57回放送教育研究会全国大会と連携し、本学会と全国放送教育研究会連盟様との初めての共同企画としてシンポジウム「小学校英語の課題と可能性」を開催できたことは大いに意義があることと思います。

昨年、東京学芸大学で開催された第12回大会懇親会会場で、全国放送教育研究会連盟の神山事務局長様とのやりとりの中から生まれたアイデアを実現するために多数の関係者のご協力をいただいたこと、北海道内におけるアクティブな会員が極めて少ない中で、全国各地から百余名の会員の皆様をお迎えした大会を無事に終了することができたことに対して改めて感謝申し上げます。また、参加された会員の皆様には大学キャンパスが札幌市の最北端に位置することもあり、初日に設定した共同企画シンポジウムの会場、宿泊ホテル、千歳空港とのアクセス等で何かとご不便をおかけしたことと思います。

本大会ではテーマを「教育におけるメディアを介したコミュニケーション」と設定し、大会プログラムでは、教育メディアに関する今日的な関心事であるテーマを取り上げたシンポジウム「デジタル放送は教育を変えるか」と4つの課題研究「教育メディア関連の教育/研修の内容と方法」「教育メディアの理論と方法」「英語教育における放送・メディアの活用」「モバイルメディアと教育」で21件と自由研究21件の発表がありました。今回は、ポスター発表の希望者がいなかったこともあり、すべてパソコンと 프로젝タを組み合わせた発表となり、最大3会場での同時展開で実施しました。

大会運営では、会員の皆様のご協力を得て、電子メールによる参加・発表申込方法を導入し、大会運営の情報化を図りました。紙媒体による申込が若干名であったことを考えれば、一歩進めWebページからのエントリーに移行しても良い時期になったのではないかと思います。地方における年次大会、研究会を開催する担当者の負担をできるだけ軽減することが、学会を全国的な規模で展開していく戦略上で最も重要な課題であると考えます。今回の大会開催で得られたノウハウをドキュメント化し、今後、他地域で開催される年次大会の参考資料としてご提供できればと考えております。(北海道教育大学教授)

定例総会

◆ 2006年度定例総会議事録 ◆

日時 平成18年(2006年)10月15日(日) 11:15~12:00

会場 北海道教育大学(札幌校)講義棟3階(306教室)

出席 計89名(46名出席、43名委任状)総会成立(全員総数336名の1/10以上)

1. 開会の辞 篠原文陽児副会長・事務局長

2. 会長挨拶 生田孝至会長

3. 議長選出 生田孝至会長選出

4. 協議

(1) 第1号議案(2005年度事業報告及び収支決算案承認の件)

1) 2005年度事業報告

①機関誌発行 佐々木輝美編集委員長

②年次大会の開催 篠原文陽児東京学芸大学大会実行委員長

③学術交流等一研究会の開催 小笠原喜康研究委員長

④理事選挙結果 中野照海選挙管理委員長

2) 2005年度(平成17年度)収支決算(案):承認 監査報告 小町真之監査

(2) 第2号議案(2006年度事業計画及び収支予算案承認の件)

1) 2006年度事業計画

①機関誌発行 佐々木輝美編集委員長

②年次大会の開催 瀬川良明北海道教育大学大会実行委員長

③学術交流等一研究会の開催

2) 2006年度(平成18年度)収支予算案:承認

(3) 第3号議案 新理事、会長、副会長、監事承認の件:承認(別項参照)

5. 新会長、副会長挨拶及び総務・会計担当理事、研究会担当理事、編集担当理事紹介

6. 表彰

「坂元彦太郎記念教育メディア研究奨励賞」審議経過と結果報告 市川昌坂元賞選考委員
受賞論文 岡野貴誠・久保田賢一「映像制作を支援するウェブ教材の評価」(教育メディア研究第12巻第1号掲載)

7. 2007年度年次大会

秋田大学における開催について関係者等で調整中であることが報告された。

8. その他

(1) 総務・会計担当理事から、学会費納入依頼があった。

9. 閉会の辞 生田孝至会長

○ 第5期(2006年4月1日~2009年3月31日)役員 ○

(実際の任期は、2006年度定例総会翌日から、2009年度定例総会前日まで)

【会長】 生田孝至

【事務局長】 篠原文陽児

【編集担当理事】 佐々木輝美・和田正人

【坂元賞選考委員】 小平さち子・高菜康雄・市川昌

【監事】 南部昌敏・芝崎順司

【副会長】 篠原文陽児・久保田賢一

【総務・会計担当理事】 佐賀啓男

【研究会担当理事】 村野井均・鈴木克明

(以上、敬称略)

理事会

◆ 日本教育メディア学会第4期最終理事会議事録 ◆

1. 日時 平成18年(2006年)10月13日(金) 16:00~17:30
2. 場所 札幌サンプラザ(札幌市北区)
3. 出席 15名(ほか、事務局員1名):30名の半数以上で、理事会成立
4. 協議事項
 - (1) 平成18年10月15日(日)午前11時15分から開催の「総会」進行等
資料(平成18年10月3日付け「日本教育メディア学会第4期最終理事会議事日程(案)」及び「学会通信第40号」にもとづき、予算・決算案、次期(第5期)理事候補者推薦、坂元賞、2007年年次大会会場校の件につき協議した結果、予算・決算案、次期理事候補者、坂元賞に関して、原案どおり定例総会に提案することになった。また、特に、理事選挙の方法に関して、継続審議とすることになった。
 - (2) その他
特になし。

以上

◆ 日本教育メディア学会第5期第1回理事会議事録 ◆

1. 日時 平成18年(2006年)10月13日(金) 17:30~18:20
2. 場所 札幌サンプラザ(札幌市北区)
3. 出席 18名(ほか、事務局員1名):30名の半数以上で、理事会成立
4. 協議事項
 - (1) 理事会組織・役割分担の件
資料(平成18年10月3日付け「日本教育メディア学会第5期第1回理事会議事日程(案)」及び「学会通信第40号」にもとづき、次期(第5期)理事会組織及び役割分担につき協議し、以下のように、総会に提案し承認を求めることになった。
会長(1名):生田孝至、副会長(2名):篠原文陽児・久保田賢一
総務・会計担当理事(1名):佐賀啓男、編集担当理事(2名):佐々木輝美・和田正人
研究会担当理事(2名):村野井均・鈴木克明
坂元賞選考委員(3名):小平さち子・高栗康雄・市川昌 (以上、敬称略)
 - (2) 監事選任の件
監事2名につき協議し、芝崎順司及び岸本唯博両氏に依頼することになった。
 - (3) その他
理事会の持ち方及び理事選挙の方法につき、継続審議とすることを確認した。

以上

編集委員会

◆ 定例編集委員会議事録 ◆

平成18年10月13日(金)2:00~3:30、札幌サンプラザにおいて編集委員会が行われ、それぞれの議題について、以下のように決まった。

- (1) 編集委員会組織(任期3年:2009年度定例総会前日まで)

【委員長】佐々木輝美(国際基督教大学)

【副委員長】和田正人(東京学芸大学)

【常任委員】

井口実千代 (東京工業大学附属科学技術高等学校)	佐野 博彦 (茨城大学)
市川 昌 (江戸川大学)	篠原文陽児 (東京学芸大学)
宇佐美昇三 (日本大学)	高栗 康雄 (元江戸川大学)
久保田賢一 (関西大学)	中野 照海 (元国際基督教大学)
小平さちこ (NHK 放送文化研究所)	堀江 固功 (江戸川学園)
小町 真之 (元東京情報大学)	吉田 貞介 (金沢学院大学)
佐賀 啓男 (メディア教育開発センター)	渡辺 良 (国立教育政策研究所)

【委員】

赤堀 正宜 (桐蔭横浜大学)	中村 博幸 (京都文教大学)
石川 勝博 (常磐大学)	平田 賢一 (岡崎女子短期大学)
内海 成治 (大阪大学)	古田 普行 (元日本放送教育協会)
大河原 清 (岩手大学)	北條 礼子 (上越教育大学)
川島 淳一 (常磐大学)	松野 成孝 (さわやかからば県民プラザ)
菊江 賢治 (NHK)	牟田 博光 (東京工業大学)
黒上 晴夫 (関西大学)	村川 雅弘 (鳴門教育大学)
瀬川 武美 (帝塚山学院大学)	吉田 広毅 (常葉学園大学)
瀬川 良明 (北海道教育大学)	ホワイト・J. (元帝塚山学院大学)
園屋 高志 (鹿児島大学)	渡辺 光雄 (筑波大学)
田口 真奈 (メディア教育開発センター)	

(2) 機関誌「教育メディア研究」発行計画

2005年度分の機関誌(第12巻1号及び2号)の発行が遅れたため、2006年度分の機関誌(第13巻1号及び2号)の発行も遅れ気味であるが、論文も集まりつつあり、2007年3月までに2006年度分の機関誌の発行を目指すことになった。

(3) 特集論文

前回の特集「eラーニングの課題と可能性」への投稿論文が集まるまでに時間を要したことなどのため、その発行が大分に遅れた。その関係で、次の特集論文を発行するまで少し時間を空ける必要がある。年度末頃に行われる予定の編集委員会において特集テーマを決め、ホームページなどで、会員に広報することになった。

○ 編集委員会からのお知らせ ○

(1) 機関誌「教育メディア研究」への投稿原稿募集

「教育メディア研究」編集委員会では、常時、投稿原稿を受け付けていますが、2007年度発行予定の第14巻1号は2007年5月末頃まで、第14巻2号は10月末頃までを目安に、ご投稿ください。

投稿に際しては、投稿規定(学会誌の表紙裏、または、学会ホームページに掲載)を熟読し、特に投稿論文等の種別に応じて、字数制限をお守りください。また、欧文要約と同キーワードの標記についても、ネイティブチェックを行うなど、十分にご配慮ください。査読審査、入稿等が、早まります。

投稿に際しては、次の書類等を、投稿先住所まで、簡易書留で、ご送付ください。

- ・必要事項をすべてご記入済みの投稿票(投稿票は、学会ホームページからダウンロードできます)
- ・投稿原稿を4部(原本1部とそのコピーを3部)
- ・原本が収められた記録媒体(フロッピーやCD-ROMなど)
- ・(封筒の表に「投稿原稿在中」と朱筆する)

■投稿先住所■

184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学教育学研究室内
日本教育メディア学会事務局内
学会誌編集委員会 宛

(2) 第13巻1号の「特集論文」についてのお詫びと訂正

学会誌第13巻1号がお手元に届いていますが、表紙の目次に「特集論文」とすべきところを「特別論文」とする誤りがありました。1文字ではありますが、「特集論文」と「特別論文」では、意味合いが大きく異なりますので、ここに訂正し、お詫びを申し上げます。

<編集委員会委員長 佐々木輝美>

事務局

△ 新入会員 △

[正会員]

野崎 浩成 (愛知教育大学)、中川 一史 (金沢大学)、土屋 祐子 (慶応義塾大学)

[学生会員]

河岸 美穂 (金沢大学大学院)、赤坂 瑠以 (お茶の水女子大学)

[購読会員]

(株) トーハン海外営業グループ

▽ 退会会員 ▽

金子 明石

<会員総数>

正会員 354名 学生会員 25名 団体会員 7団体 購読会員 9会員 (機関)
(2007年1月31日現在)

■ 第13回年次大会 (北海道教育大学) における発表取り消し ■

J2-4 メディアリテラシーの構造：多母集団同時分析を用いて 後藤康志 (新潟医療福祉大学)

○ 日本学術会議ニュース ○

- ◇ テレビ番組等における「科学的」実験についての会長談話 (2月9日付メールにて受信)
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-d4.pdf>
- ◇ イノベーション報告書「科学者コミュニティが描く未来の社会」の公表 (1月26日付メールにて受信)
<http://www.scj.go.jp/ja/info/iinkai/innovate/index.html>
(ファイルは、容量が多いため、本文、参考資料、概要に分かれています。)

◇ 学会費納入、お振込みのお願い ◇

本学会は、会費の前納制です。
振込用紙を同封いたしました。
つきましては、2007年度会費(2007年4月から2008年3月)の納入をお願いいたします。
なお、2006年度会費(2006年4月から2007年3月)等未納の方は、早急に、納入をお願いいたします。
正会員の年会費は7千円、学生会員は年会費4千円です。

年次大会

◆ 日本教育メディア学会第14回年次大会のご案内 ◆

1. 日時 平成19年10月20日(土)～21日(日)
2. 会場 秋田県「カレッジプラザ」
JR秋田駅から徒歩5分の明德館ビル2階
3. 開催計画 (概要)

今年は、「秋田わか杉国体」及び障害者スポーツ大会の「秋田わか杉大会」が9月29日～10月15日の期間に、秋田県内で開催されます。その直後ではありますが、上記の日時と会場を考えた計画で、準備を進めています。

なお、年次大会初日の10月20日(土)午前中には、秋田大学教育文化学部附属小学校において、公開の授業提示とその授業検討会を開催する予定です。そして、午後からは、会場を、上記の秋田県「カレッジプラザ」に移し、開催することを計画しております。

詳細は、本誌次号でご案内いたします。

皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

なおまた、この時期、多くの催し物等が秋田市内で予定されております。ホテル、交通機関等のお早目のご予約など、お勧めいたします(学会事務局及び年次大会事務局では、ホテル等の斡旋などいたしませんので、予め、ご了解ください)。

§

日本教育メディア学会 事務局

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学教育学研究室内
電話 042-329-7344 / Fax. 042-329-7344
学会ホームページURL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/>
E-メール shijaems@u-gakugei.ac.jp
郵便振替口座 00130-4-103021